

FIAT 500 TWINAIR

#02 | 2011年式 | 走行距離=20000km



担当=310

昨年末に広報車として使用されていた初期モノツインエアを購入。手元に来てから既に3000kmを走破。これまでトラブルは一切無く、快調そのもの。



100kmも走れば 真っ黒になる 純正パッドの威力

せっかく洗ってもすぐに真っ黒になってしまうフロントホイール。リアはドラムブレーキなので、そう汚れることが無いだけに対照的。解消方法はパッド交換が小まめな清掃か。



Tipo PADDOCK PASS

専用アダプターの装着で 純正オーディオのまま iPodが聞ける！

問い合わせ：アルフィスタ・インターナショナル HP：<http://shop.alfista-int.com/>

ご覧の通り、接続が完了すればiPodにFIATのロゴが表示される。オーディオ本体側に曲名などは表示されない。500の純正オーディオはBOSCH製とBLAUPUNKT製の2種類があり、前者は2010年以降となるようだ。

作業手順



左右にあるスイッチのフタをマイナスドライバーなどで取り外す。丁寧に作業をしないと裏側のツメを折ってしまうので注意が必要だ。



X Car Linkはネットのみでの販売。価格は1万1000円で、オーディオ取り外し用のリムーバーは1000円。アルファ用もラインナップする。



専用のリムーバーをしっかりと奥まで差し込む。リムーバーにテンションを掛けて、ゆっくり引けばオーディオが簡単に取り外せる。



ご覧の通り、丸ごとスッポリ抜ける感じ。取り外す際にパネルに傷を付けてしまう可能性があるがあるので、マスキングをするといいたいだろう。



コネクタとアンテナケーブルを取り外す。本来ならCDチェンジャーを接続するコネクタにX Car Link用のケーブルを接続。



筐体を助手席足元に両面テープで固定。iPod側に接続するケーブルを鞆いで作業は完了。作業時間はおよそ1時間程度だった。



これがX Car Linkと接続した状態。但し、オーディオスペースに余裕は無いので、ブラックボックスは別の場所に設置しなくてはならない。



X Car Linkのケーブルは足元側から手探りでオーディオ側へと導く。スペースが狭いので、この作業はちょっとコツが必要だ。

ショートアンテナで プチイメチェン！

立体駐車場などでいちいち取り外すのが面倒なので、TEZZOのショートアンテナを装着。60/80/100mmの3タイプが用意され、一番短いのをチョイス。リアルカーボン+クロムで、見た目のクオリティもなかなか。5250円。



今月も取材のアシとして、日夜大活躍の310ツインエア。距離もグングン伸びて、この一ヶ月で1200km以上を走破した。調子は至って快調で、トラブルも一切無い。ちなみに街中主体の使用で、平均燃費は16.7km/l。エコモードで燃費運転をする訳でもなく、しかも個人的に不快に感じるアイドリングストップをカットした状態と考えれば、まずまずの結果だと思う。

一ヶ月でこれだけ走ると、車内でも過酷な時間も長くなる。そうなるという気がついたり、チューニングをしたい箇所が見えてくる。そんなアレコレを妄想するのが今は楽しい。さて、今月は前号でチラっとお見せした「X Car Link」を紹介したい。これは純正オーディオにiPodを装着するためのもの。ネット上で偶然見つけ、そのまま衝動買いしたのだが、これがなかなかいい。まず、ボクは室内のデザインと一体

感のある純正オーディオをそのまま使用しなかった。FMトランスミッターで接続させる方法もあるが、それだとしても音質は落ちてしまう。しかし、このアイテムを使用すれば、ケーブル接続なので、音質が落ちることなく聞くことが出来る。

接続は至って簡単で、オーディオを専用工具で外して、その裏側にある部分にコネクタを接続するだけ。本来であればCDチェンジャーを接続する部分らしいが、これをiPod用に変換させている。優秀なのはステアリングにあるスイッチに対応させていること。ステアリングから手を離すことなく曲飛ばしが出るのだ。一方で、CDチェンジャーを変換させているので、聞けるのはiPod内にある9つのアルバムに限定される。しかし、iPodをシャッフル状態にしておけば、全ての曲が聞ける。見た目は地味だが、その効果に満足している。